

- 1 学 年 小学6年生
- 2 テ ー マ 水の中の生きもの
- 3 時 期 夏
- 4 所要時間 前半45分・後半45分
- 5 人 数 30人程度
- 6 活動場所 博物館野外・スタディルームなど
- 7 準 備 けんび鏡、スライドガラス、カバーガラス、ビーカー（池の水）、スポイト、すくいあみ
- 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
<p>1 本時の学習内容を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>池などの水中にはどんな生物がいるのか、けんび鏡を使って観察しよう。</p> </div> <p>2 既習事項（けんび鏡の使い方）を復習する。</p> <p>3 観察の準備をする。</p> <p>（1）観察に使うものを準備&確認する。 ※自分達で池などの水をすくいに行く。</p> <p>（2）けんび鏡の使い方やプレパラートの準備を確認する。 ・操作の仕方を確認する。 ・レンズやカバーガラスが割れないように注意する。</p> <p>（3）観察を始める。 ・観察した生物をスケッチする。 ・教科書の写真から小さな生物の名前も確認する。</p> <p>5 まとめをする。（5分）</p>	<p>・前時の内容の確認をする。（担任）</p> <p>※必要な物が必要な個数があるか確認する。（担任・博物館職員）</p> <p>※事前に採水場所の環境を確認し、児童の活動の安全に配慮する。（担任・博物館職員）</p> <p>※顕微鏡、プレパラートの確認をする。（担任・博物館職員）</p> <p>※ワークシートに見つけた微生物のスケッチを描かせる。（担任・博物館職員）</p> <p>※生物の名前がわからないなどの際は、教科書や図鑑等で児童と確認しながら学習活動を支援する。（担任・博物館職員）</p> <p>・ワークシートにまとめを書かせる。（担任）</p>